

令和4年11月議会 知事提案理由

☑11月補正予算案

一般会計 52億5594万円

企業会計 13億608万円

☑当面の諸課題

新型コロナ

- ・11月28日から感染注意報から感染警報に引き上げ
- ・季節性インフルエンザとの同時流行の懸念
- ・オミクロン株ワクチン接種の促進
- ・医療介護施設に集中的な検査を開始

本県経済・雇用情勢

- ・生産持ち直し、個人消費緩やかに持ち直し
- ・雇用情勢 有効求人倍率上昇し9月は1.59倍
- ・物価上昇、部品等の供給面での制約、金融資本市場の変動、海外景気の下振れリスク
- ・国の補正予算である経済対策に速やかに対応し積極的な活用を
- ・「しあわせる。富山」「SCOP TOYAMA」「令和6年の県立大学情報工学部の開設」「電子納付の開始」
- ・北陸新幹線 関西の経済団体も含め予算要望。G7教育大臣会合について石川県知事、富山・金沢両市長との意見交換、勝興寺の国宝化

☑令和5年度の予算編成方針

- ・本県財政につきましては、高齢化の進展等により社会保障関係経費が年々増加しており、新幹線建設等に当たって発行した地方債の償還による公債費が高い水準で推移するなど、引き続き厳しい状況
- ・新たな「県庁活性化方針」を策定

☑令和4年11月補正予算の概要（3つの柱）

① 「原油価格・物価高騰対策」

② 「新型コロナ対策」

③ 「未来への投資」

- ・県立大学において新学部の開設に伴い必要となる高規格のネットワーク機器の整備
- ・県庁における業務効率化（グループウェア、メールシステム等の再構築）
- ・高岡テクノドーム別館については、建設工事に係る債務負担行為を設定し、令和6年度中の開館をめざして整備